



どうなった

あの一一般質問の行方は

ゆくえ

児童・生徒の通学路は安全か

各小学校から要望されている通学路の危険箇所、道路側溝のフタの布設や歩道の狭い所の改善は進んでいるか。グリーンロードの横断歩道の設置はできるのか。

平成 18 年 9 月定例会 坂元 正春議員

町長答弁

野方地区の若者定住化促進対策について

野方小学校と隣接している町営住宅の空地と、家畜検査場跡地は永年遊休地となっている。この2つの空地を若い人達が住める住宅地として有効活用することはできないか。

平成 21 年 12 月定例会 岩田 秀一議員

町長答弁

更なる整備を進める

各小学校の要望及び危険箇所調べに基づいて、少しずつではあるが施工している。今後も安全・安心な町づくりを目指して事業を進めていく。グリーンロードの横断歩道の設置は、関係機関と検討しながら計画していきたい。

町長答弁

こうなりました

若者の定住策として取り組んでいく

町営住宅の空地は環境も良く、住宅地として適している。しかし、現在古い木造住宅が残っており入居者も居る。整地するには入居者をどうするか課題がある。このことが解決出来れば、整地して若者が住める住宅地として活用したい。家畜検査場跡地については、現在では企業誘致の為の候補地として考えている。

町長答弁

こうなりました

早急な設置は難しい

横断歩道の設置要望のあった中沖地区については、平成 18 年 11 月に設置済みである。また、持留地区の設置箇所については、グリーンロードに並行して東九州自動車道が整備される計画であることから、早急に設置することは難しい。

総務課所管

分譲に向けて作業中

現在、実施計画の策定を行っている。町営住宅空地部分は、関係予算を 9 月議会に提案する予定である。その後、造成に着手し完了後に条件公募の予定である。また、家畜検査場跡地は、賃貸住宅建設を条件とする公募による払下げを予定している。

まちづくり推進室所管

※ 過去の定例会での一般質問の中から一部をピックアップして、その後、どのように町政に反映されたかを検証します。